

緊急地震速報を知っていますか？

気象庁では、強い揺れが到達する前に地震の発生をお知らせする緊急地震速報の提供を始めています。

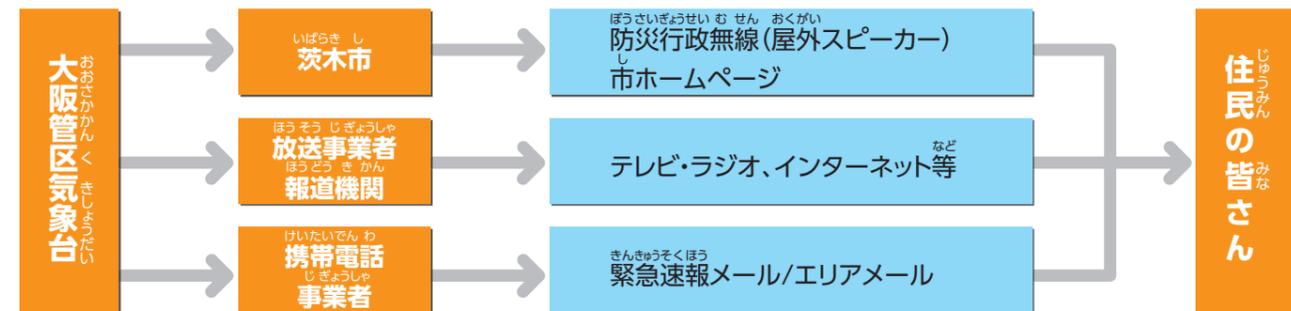
最大震度5弱以上と推定された地震の際に、強い揺れ(震度4以上)の地域の名前を強い揺れが来る数秒～数十秒前にお知らせするものです。



- ◆室内では 頭を保護し、大きな家具から離れ、机の下などに隠れる。慌てて外へ飛び出さない。
- ◆室外では ブロック塀、自動販売機、ビルの壁などから離れる。落石やがけ崩れに注意する。
- ◆自動車の運転中 急ブレーキ、急ハンドルをさけて、ハザードランプを点灯して緩やかに停止する。

情報伝達の経路

緊急地震速報は、下図のような経路で住民の皆さんに伝達されます。



地震による火災を防ぐために

火災が発生した場合は消火器などを使い、初期消火に努めましょう。まず、周囲に「早く知らせ」、小さい火事のうちに「早く消し」、天井まで火が燃え広がったら「早く逃げましょう」。防災訓練などでは、消火器の使い方を練習しておきましょう。



〔消火器がない場合の火元別初期消火方法〕

<p>油なべ</p> <p>水をかけてはいけません。毛布やたきめのタオルをぬらして、火の手前からなべ全体にかぶせ、空気を遮断します。</p>	<p>石油ストーブ</p> <p>上から一気に水をかけます。灯油がこぼれていたら毛布で覆ってから水をかけます。</p>	<p>衣類</p> <p>転げまわって火を消します。髪の毛の場合は、頭からタオルなどの布をかぶります。</p>
<p>電気製品</p> <p>感電しないように、コンセントを抜いてから消火します。</p>	<p>カーテン・ふすま</p> <p>天井に火が燃え広がる前に、水で消します。また、カーテンは引きちぎり、ふすまは倒して消火します。</p>	<p>風呂場(ガス式)</p> <p>ガスの元栓を閉め、火の勢いが強くならないように扉を徐々に開けて消火します。</p>

避難時の留意点

火の元確認

避難する前にもう一度、火の元を確認し、通電火災を防ぐためブレーカーを落としておきましょう



足もとに注意

電柱、ブロック塀、ガラス、切れた電線等に注意しましょう。



階段から避難

避難時は、エレベーターを利用せず階段から避難しましょう。



安否情報を知らせる

玄関などに安否情報を記したメモを貼っておきましょう。



安全な服装

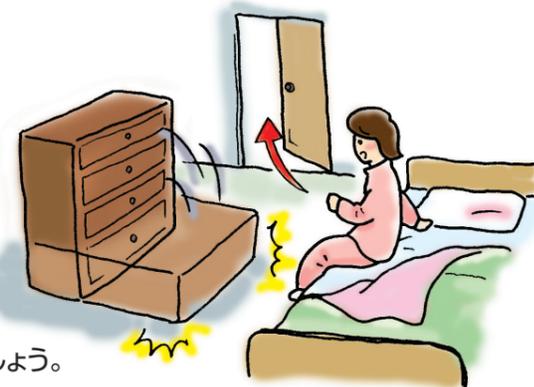
長袖、長ズボンなどの安全な服を着用し、建物のそばを避けましょう。



被害を防ぐポイント

家の中の安全確認

- ・戸建住宅などの場合はできるだけ2階で寝るようにしましょう。
- ・寝室には背の高い家具を置かないようにしましょう。
- ・家具には、転倒防止金具を取り付けましょう。
- ・部屋の入り口付近には物を置かないようにしましょう。
- ・テレビや置物などには、粘着マット等を使い、転倒防止に努めましょう。
- ・食器棚、本棚などは、とめ金具を取り付けましょう。



家の周囲の安全確認

ベランダ: 植木鉢などの整理整頓をしておきましょう。

ブロック塀: しっかり点検補強をしておきましょう。



屋根: 不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておきましょう。

窓ガラス: 飛散防止フィルムを貼きましょう。

プロパンガス: ボンベをしっかり鎖で固定しておきましょう。